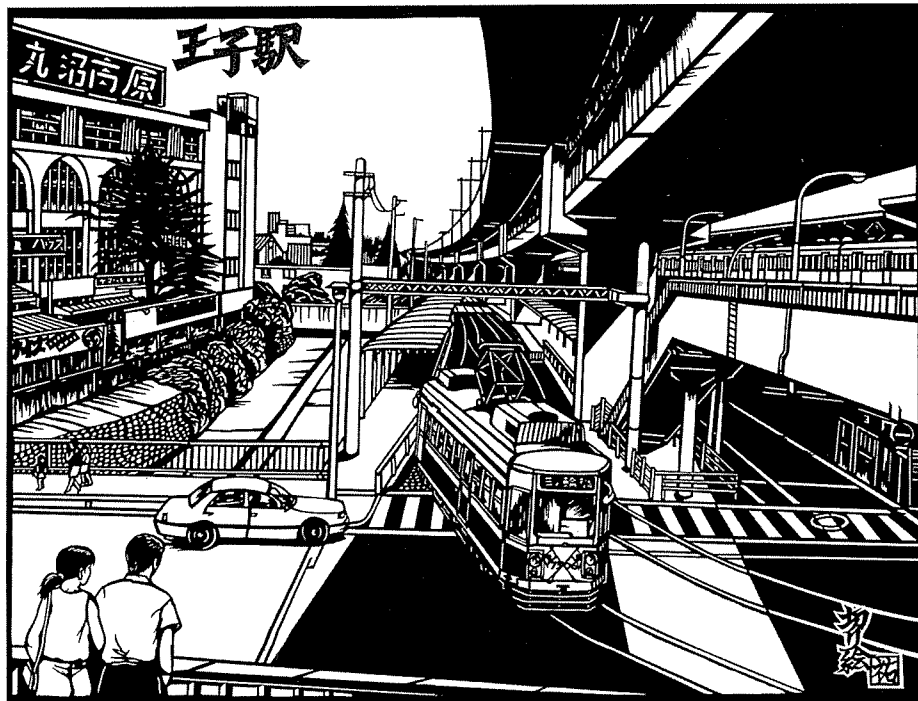


やよい

発行責任者 都立向丘高等学校同窓会
 会長 小川力洋
 編集 会報委員会
 事務局 〒113-0023
 東京都文京区向丘1-11-18 向丘高校内
 TEL 3811-2022
 FAX 3812-4055



都電荒川線 王子駅

切り絵作家 稲葉祐吉 作

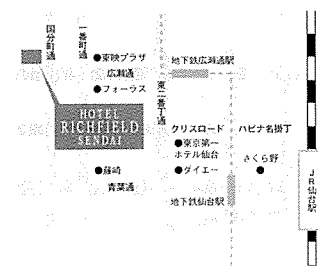


同窓会活動のご案内 (やよい会)

①平成19年4月22日(日)
 ☆総会 受付13:00
 開始13:30~14:15
 (会務・会計の報告・審議)
 ☆記念演奏会 14:30~15:30
 出演:母校吹奏楽部員
 指揮:原田 亮先生
 ☆懇親会 16:00~18:00
 お楽しみ抽選会あり
 一般会員参加費: ¥3,000
 ※新成人を祝う会
 (対象)平成17年3月卒業会員
 ※平成17・18・19年3月卒業者
 無料御招待
 卒業時の各学級幹事がおまと
 めの上、会長まで人数を
 お知らせ下さい
 申込方法
 4月10日(火)までに同封の
 用紙にてお振込下さい。
 場所
 すべて母校6階多目的ホール

②平成19年5月26日(土)
 ☆全国大会
 やよい会仙台大会
 式典 受付12:00 開始12:30
 ☆懇談会 13:00~15:00
 参加費 ¥5,000 (但しH18・
 19年卒業生は¥2,500)

場所 仙台市青葉区国分町2-2-2
 ホテルリッチフィールド仙台
 TEL 022-262-7755



申込 5月15日(火)までに
 同封の振替用紙の“その他”
 の欄に仙台大会費と記入の
 上お振込下さい。
 ◇宿泊希望者は会場近くのビ
 ジネスホテル二見 (TEL
 022-222-7547) ¥6,000(シ
 ングル・朝食付)会長までご
 予約の上お振込下さい。

③平成19年9月8日(土)~9日(日)
 ☆合同旅行会
 行き先 草津温泉ホテルニュー紅葉
 TEL 0279-89-8011
 会費 ¥10,000
 ※詳細は11頁をご覧下さい。

④平成19年9月23日(日)
 ☆学校訪問 (ホームカミング会)
 セミナー 夜間中学の実態と成果
 講師 見城慶和氏 15:30~
 ☆懇親会 17:00~18:30
 参加費 ¥2,000
 場所 母校B棟4階教室
 申込 会長宛予約の上当日払可
 ※詳細は12頁をご覧下さい。

⑤平成19年11月10日(土)
 ☆母校創立60周年記念事業協賛
 式典 母校体育館 14:00~(予定)
 記念講演 横山秀夫氏(S52年卒)
 祝賀会 ¥5,000(予定・要予約)
 場所 北区北とびあ16階
 東武サロン
 受付17:30~
 ※詳細は12頁をご覧下さい。

総合問合わせ先
 〒114-0012
 東京都北区田端新町1-27-11
 東京都立向丘高等学校同窓会
 会長 小川力洋
 TEL 3893-9792(代)
 FAX 3893-9793

御挨拶

成人祝会を毎年恒例に 母校で同期と喜び合おう



同窓会長

小川 力洋

ご成人誠におめでとうございます。地域毎での祝う会が行なわれたことと思いますが、同期の仲間同志で仲睦い語らいの時間をお持ち頂き東大縁起の銀杏記章を胸に秘め「ガオカ」OBの誇りをご自身や世間様に高らかに振りかざして晴れやかな人生を邁進して下さい様期待申し上げます。

昨年初めての「成人祝う会」を母校で開催しました。平成十六年三月卒業生が対象でした。まず、卒業時の級幹事をお呼び掛け、お集り頂いてスタートしました。所が皆さん全員のご都合が合わず難しかったのですが、興味を持って下さった友達等数人が集って下さいました。

お呼び掛にはどんな形が良いか、何をやらたら気を惹きつけられるのか、ということの相談会でした。差し当り卒業時の級幹事名を入れて、全ての対象者に片ハガキでご案内をするしかないだろう、となりました。元来卒業直近二年間（未成年）までを学校に呼び戻したくて、無料御招待としておりましたが、仕事や大学入試がうまく終ってないか等で無反応の様でした。

昨年については直年卒業生と、成人祝者に、一大抽選会を目玉として、全員招待状を幹事さん方に宛名書等をお願いして郵送させて頂きました。

お陰様で、直近卒業生六十名、新成人者七十名程が参加して下さいました。念願だった若年層のご参加でした。

抽選会の賞品には「IPOD」一台、ペア宿泊券、ディズニースーパー入場券がありました。これらは幹事さん方に予算を限って購入して頂いたものでした。抽選カードは参加者全体に配布して「愛県名ゲーム」を行つたものでしたが、大方若手の方々が富を得ました。

祝う会を盛り上げた画期的な懇親会ができましたこと、役員一同感謝に堪えませんでした。机、イスが足りなくて心配いたしました。若者達は床に車座となり飲食・歓談されご満悦で、時の過ぎ行くを忘れた様でした。

そこで、この企画を慣例化とし、毎年続けて行き大切な人格形成期の間関係が成就され、ひいては一生切つても切れない「ガオカ」の同窓意識を堅持され、ゆくゆく同期会の開催等へと掻き立て頂きたいと願っております。貼り替えのできない「ガオカ」のレットテルが磨かれより光り輝くことを祈念いたします。

中堅進学校へと信頼を



校長

戸谷 賢司

この春、驚宮高校から向丘高校に異動してまいりました。同窓生の皆様が、歴代校長をはじめとする多くの教職員とともに、これまで築いてきた向丘のよき伝統を大切に引き継

ぐとともに、時代や社会の変化に柔軟に対応した学校経営を行い、向丘高校の充実・発展を期したいと考えています。同窓生の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、来年度、本校は創立六十周年を迎えることになりました。人間で言えば還暦を迎えることになり、大きな節目の年となります。

そのため、昨年七月に学校、同窓会、PTAからなる周年行事準備委員会を設立し、創立六十周年記念事業に関する準備を開始いたしました。平成十九年十一月十日（土）の午後周年行事の開催期日を設定し、記念式典は学校の体育館において、祝賀会は別会場（北区の北とびあひの予定）で開催する運びとなっております。また、創立六十周年記念誌の発行に向けて編集委員会も設立し、本校のここ十年の歩みを中心にまとめる所存です。周年行事を契機に本校の教育活動をさらに充実・発展させ、生徒・保護者の期待に応えること

はもとより、同窓生の皆様からの温かな叱咤激励にも応えていきたいと考えております。忌憚のないご意見をお寄せ頂くと共に、お力添えを重ねてお願い申し上げます。

最後に申し上げますが、この紙面を借りて、校長として向丘高校の経営方針について、その一端を述べさせていただきます。

進路調査から、本校に入学してくる生徒の大多数が将来、大学等の上級学校へ進学を希望している実態があります。その為、本校に期待されている使命の中心は、三年間で生徒の心身を鍛えあげ、校訓に示された「自主・誠実・明朗」な人材を育成する中で、しっかりとした自ら学ぶ構えを作り、大学等の上級学校への進学に対応できる確かな学力をつけることであると考えています。言い換えれば、都民や地域社会から中堅進学校としての播るぎない信頼を得ることが重要課題といえます。

学校だより

生徒の自立支援を促す



副校長

飯田 幸男

向丘高校生の進路希望と進路決定状況

本校では、毎年四月に生徒全員を対象とした進路希望調査を実施している。平成十八年度は四年制大学希望者が五十四％、短大五％、専門学校二十一％、就職四％、未定十五％となつている。これに対して平成十八年三月の進路決定状況は、四年制大学四十一％、短大五％、専門学校二十九％、就職四％、未定二十四％という状況である。全体の傾向として四年制大学を希望しているながら、その目標が達成されないという現状がある。

生徒のそうした進路希望が達成できるよう支援の一環として夏休みには、基礎力養成、進学対応の実践的な講座等三十余りの講座が開講され、多くの生徒が熱心に受講した。とりわけ本校では大学受験において推薦入試の希望者が多く、個別の論文指導が夏休みを境にピークとなり、教師は生徒との一对一の指導にあたっている。

学校完全週五日制下の生徒の変化

学校完全週五日制が実施されて既に五年が経過する。間もなく、小学校一年生から学校

週五日制下で学んだ生徒が高校に入学してくることになる。十二年間の総計では、およそ一、五〇〇時間あまりの授業時数減となる。

小・中・高校で教える内容が削減されても、高校入試や、大学入試さらに社会人として求められる知識や一般教養に変わりはない。こうした学校を取り巻く外的環境の変化により子供たちの学力や学びの姿勢にも変化が起りつつある。学校での授業時数の削減を家庭学習で補充できず、学力不足をきたす生徒が出てきている。こうした生徒は予習・復習を行う習慣がなかなか身につかない。さらに、教師が課題等を指示すれば取り組むが、自ら問題意識を持つて探求しようという姿勢があまり見られない。また、学習にさほど意義を見出せていない生徒と、二極化が見られる。こうした生徒の実態を把握しながら、いかに生徒に学力をつけさせ自立に向けた支援をなすが、学校に課せられた最大の課題である。

全都立高校で「奉仕」を必修化

平成十二年、小淵内閣のもとで発足した教育改革国民会議において「奉仕体験」について議論がなされたが、国民的な合意が得られず実施に至らなかった。東京都教育委員会では、平成十九年度より全都立高校で「奉仕体験活動」を必修化することとなった。「奉仕体験活動」を通して社会に役立つ喜びを体験し、学校や地域への帰属意識や社会への参加意識を高め、社会に貢献する資質を養うことがねらいである。本校では地域のまちづくり、防災、災害救援活動、環境保全活動の分野を中心に一年生で体験活動を実施する。実際の奉仕活動として文京区内の神社仏閣を始めとする史跡、美術館や博物館、公園等の清掃活動を行う。また災害時に備え救命法の講習を

受け、災害時の救援活動の訓練を行う。文京区内の関係機関の協力も得ながら実施する予定である。

同窓会活動報告

全国大会・新潟シティホテル

(古町八丁目)にて開催

現地四名・役員八名が参加で好評に

十八年五月二十七日(土) 十二時には概ね集合され、十二時三〇分から杉浦副会長の司会で開会した。

まず校歌斉唱、そして小川会長から同窓会の現況・あり方・進め方、地方での開催の意義が述べられた。現地参加の会員方から頷きと賛同を頂いた。

早速、役員方から自己紹介を進め、続いて順次皆様からお話を頂いた。往時を懐かしみながら、現地での活躍の様子等を充分に語り下された。

次に懇親会をホテルに依頼していましたが、都合により近隣の西堀通りの割烹きらくに案内された。

三業会館近くで「ふりそでさん」舞妓」を呼べる店と言われるだけあって、中庭付で情緒豊かに、銘酒佐渡の真野鶴」等を気分爽快にて、美味を堪能した。おのずと会話も弾んだ所だったが、午後三時にお開きとなった。

その後市内見物の案内を米林喜男様(昭三十四卒)・小山ゆき子様(昭四十卒)がかつて出て下さりウォーキングがスタートした。

古町通りの商店街を見歩きながら、白山神社・白山公園・市民芸術文化会館(お茶タイム一休み)く広大な信濃川沿いのやすらぎ堤

(草原)で水上バスを横目に歩き、旧家の小宅をご紹介頂いた。

更に堤を下り萬代橋を渡り、佐渡汽船手前の朱鷺メッセ展望室までご案内頂いた。薄暮に向う市内の灯りや新潟港での出入船まで満喫できた一日だった。特に最後までお連れ下さった米林喜男様に全員で感謝したい。(役員記)

やよい会全ての行事に参加して



S32年卒 櫻井 弘清

会員の皆様いつも元気にすごしておりますか。小生は七十になると云うのに、いたって元気で毎日を過ごしております。

◆四月二十三日(日) 総会・懇親会

今年は何年になく、若い方、成人になられた方、今年卒業したの、ういいういしい方達をお迎えし、有意義な時を過ごすことが出来ましたが、幹事長の私としては、反省、新卒者はアルコール類は飲めないの、飲料水を多種多様に用意すべきであった。来年度からは、この様にすべきであろう。

今までにない若さのシンボルである。新生な芽ぶきを体感しました。

◆五月二十七日(土) やよい会新潟大会

新潟駅に着。今日の宿、会議場まで、歩いて行きました。道路の広い事と土日曜日のせいか車の少ないことには驚きました。東京もこの様に広く、歩いていけば走りやすく良い所になると思えました。

会議・懇親会を終え、新潟市内の有名な各所を見歩いてまいりました。特に日本海タワー

からの市内の景観、港湾の眺望、それは見事なものでした。

翌二十八日は早朝から雨でしたが佐渡へ渡り、何十年ぶりの訪問は又良い思い出作りになりました。両津港へはジェットフォイルに乗り六十分で着いてしま、たらい舟に乗ったり、トキも見ることが出来、最高でした。

◆六月十八日(日) 昭三十二年卒三・Dゴジラ会が銀座にて開催。二十名からの出席者のもと楽しい会となり、次回は地方に行くことを決定 散会いたしました。

◆九月九日(土) やよい会秋の旅行は、奥日光の温泉も良く風景も良く、歩くのもよし、天気にもめぐまれ、楽しく都会から離れ癒され楽しみ満足でした。

◆九月二十四日(日) ホームカミング 放射線利用切らずに治すガン治療、現在ガンで亡くなる方が多い中、この治療方法で治るとすればこの上ないことです。「会報やよい」にどんな会員の皆様の投稿をお願い致します。



新潟駅からの途中 萬代橋東詰にて

.....
四十年前に思いを馳せて

(新潟大会から)



S 40年卒
小山ゆき子
(旧姓 吉田)

思いがけず新潟市に向丘高校の同窓会を開催されることに感激致しました。

卒業以来四十年、思い出に浸る暇もなかった処、急に高校時代に思いを馳せるチャンスが有りかとうございました。校歌を歌い懐かしさが込み上げました。すっかり新潟県人になりきっておりましたが、会長様始め同行の役員様方は学校付近に住まれ、久しぶりに蓬来町、肴町、曙町等の地名を聞いて青春時代の己が姿を彷彿とさせられ嬉しい会でした。

仲良しだった友人も亡くなったり、遠くへ嫁いだり又消息のわからない人達もいて、今漸く私自身も、ゆつくりお会いしたいなあという時になりましたが残念です。人のご縁で、儂いものなのですね。せめてお会い出来る人には積極的にお話をしたいものです。新幹線で二時間の距離ですが本当によくお出掛け下さいましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。会の益々のご発展を祈念申し上げます。

.....
答礼に珍プレゼント



S 42年卒
早川 幸雄
(旧姓 川島)

拝啓 小川会長様
ご丁寧なお手紙とお写真をいただき、あり

ありがとうございます。また、お返事が遅れました事、申し訳なく思っております。

当日は私用のために、皆様と一緒できる時間に制限があり、早々に退席させていただきました。大変失礼いたしました。

さて本日は、新潟までお運びいただきましたお礼と当日の失礼のお詫びとして、僅かですが珍しいもの(越の寒梅五〇〇ml)が手に入りましたので、送らせていただきました。遠路お越しいただきました皆様にお渡しただければ幸いです。

小川会長様には、お手間をお掛けいたしますが、よろしくお願い致します。 敬具

.....
今年の全国大会

第五回(仙台)が楽しみ



S 41年卒
尾道 郁代
(旧姓 大橋)

平成十五年五月二十四日、西日本大会を皮切りに展開しているやよい全国大会、昨年は四年目で新潟で開催しました。新潟在住の方三名と東京から新潟に毎週仕事で通っている方一名と東京から私達役員八名とで開催されました。今日初対面にもかかわらず同窓生というだけで心を開いて下さり新潟へ移り住んでからのことや新潟の良さなどを話してくださいました。

商店街を通って白山神社まで案内していただきました。その公園を抜けると大きなコンサートホールがあり文化的な都市のように感じました。信濃川沿いに歩いて行くトキメツセがありその屋上からは三六〇度新潟市内が一望できるのでした。晴天に恵まれ佐渡が島がくつきり見えました。地元の人でも見られ

る日はあまりないそうです。ラッキーでした。

こうして各地区の同窓生と交流できるのもやよい全国大会を展開しているからでしょう。今年は仙台に出掛けます。どうぞお近くの方は楽しみにして下さい。そして一人でも多くの方が参加して下さい。向丘の卒業生という輪でつながれている縁を大事にしたいですね。

.....
新潟大会に参加して

豪農・伊藤家見学



S 46年卒
笹山 幸子

平成十八年五月二十七〜二十八日新潟大会が開催され、参加した。

当日は一点の曇りもない快晴で、新潟駅に降り立つと強い陽射しが照りつけた。万代橋を渡り、地図を片手に開催場所となるシティホテルを探しながら向かった。ホテルに辿り着くまでに、額から汗が流れ落ちるほどだった。

生憎、参加者は数名であったが、内容はとても濃いものであったと、記憶している。

新潟の老舗の旅館に嫁いだ方、転勤で新潟に住み着いた方、こちらに支店を置き東京本社と新潟を行き来している実業家の方、新潟にある大学の教授で自宅のある東京と新潟を行き来している方：どなたも新潟の風土が気に入って住み着いている姿に感動を覚えた。大会の後、場所を変えて懇親会を行い、懐かしい話題に盛り上がった。

その後、街中をそぞろ歩きした。新潟在住の方が案内してくださり、有意義なひととき

であった。

翌日は佐渡行き組と市内巡り組に別れた。私は市内巡りで北方文化博物館にバスで向かった。バスに乗る際パラパラ降り出した雨が、一時間ほどバスに乗って降りたら、バケツを逆さにしたような土砂降りとなっていた。その中を傘を差しながら見て回った。

北方文化博物館・豪農の館とは.....

越後の阿賀野川西岸にある「沢海(そうみ)」という集落に、江戸時代中期、農より身を起こし代を重ねて豪農の道を歩み、やがて巨万の富を築き、越後随一の大地主となった伊藤家という一族があった。明治に入り、次第に農地の集積を計り全盛期には一三七〇余町歩の田畑を所有、昭和期には県下一となり作徳米は三万俵余であったが、時代は変わり戦後の農地解放によりこれらの土地は伊藤家の所

有から離れた。

明治十五年から八年がかりで建てられた伊藤家の豪壮な本邸は敷地八、八〇〇坪(二九、一〇〇㎡)、建坪一、二〇〇坪(三、九六七㎡)部屋数六十五を数える純日本式住居で、昭和二十一年遺構保存の為、「財団法人北方文化博物館」が創設され、これに全部寄附された。そして、平成十二年四月、国の登録有形文化財に登録された。

「伊藤家」在りし日のままの豪壮な館に、美術品・民芸品・考古資料が多彩に展示されている。庭園、大広間、三楽亭、茶の間、囲炉裏・台所、集古館、考古資料館等。



活動だより

話題は両親の介護と 子供の結婚に集中のクラス会



S 36年卒

田中 秀夫

平成十八年十二月十六日(土) 十二時三十分から、本郷通り、赤門隣の学士会分館にて、松垣宏道君の音頭のもとで、降旗経雄先生を囲んでクラス会が開催された。私たちが入学した頃は現在の少子化の状況とは全く異なっており、一クラス五十四〜五十五名で、たしか六クラスの大人数が一学年が構成されていました。今回の出席者は先生と十五名にすぎませんでしたが、皆元氣そのもので、特に、降旗先生のお顔の輝きは他を圧倒しておりました。会った瞬間からお互いに名前を呼び合っている、約五十年前の高等学校時代にタイムスリップしてしまっただけは、なんとも不思議な感じがしました。これは高等学校時代の純粋さが、このような透明感のあるお互いの仲間意識を呼び起こしたのではないかと、ちょっと思いました。

出席者一人ひとりの近況報告では、木造校舎での楽しかった思い出や、その当時の友達のことや先生方のことを含め、それぞれの越え方の人生の風景をかみしめながら淡々と語られました。その中で、特に集中した話題は、両親の介護の問題と娘、息子の結婚が遅れている問題でした。特に、日本の現代社会が抱えている問題である、高齢社会に向かつてひたすら走っている姿が浮き彫りにされていました。日本の社会基盤をいち早く確立する必要性をつくづく感じました。



2006.12.16

「人間の寿命は一二〇歳ぐらいだ」としばしば言われていますが、降旗先生のご母堂様が一〇八歳であることと聞くに及んで、将にそのことを実感いたしました。その際、長寿に係る遺伝子があるのではないかとという医学研究が実際に進められていることが話題となり、話の花が咲きました。また、四年前に先生が書かれた「わが母の記」(平凡で「偉大」な一〇四歳)が紹介され、母子(降旗先生)の関係が現代の少年問題と重ね合わせながら、愛情豊かに記されておりました。先生はこの「わが母の記」の紹介の後に、ご母堂様の長寿の秘訣は、「周囲の至れり尽くせりのケアではなく、適度なストレス(親子げんか、大いに結構)が必要」と結ばれたことが、特に印象的でした。

あつという間に三時間半が過ぎてしまいました。クラス会の終わりに当たり、わがクラスのお歌姫、真塩共栄さんのリードで♪♪弥生

の花は爛漫と 文化の春を歌うとき 向丘の学び舎に 希望の光満ち渡る ああ青春の感激を 集まる所わが母校♪♪ さらに二番、三番と、ほとんど涙み無く、わが校歌を心を一つに合唱し、若き時代の高ぶりを互いに感じ合った次第です。次回も元気で会いましょうと約束して散会しました。

なお、今回のクラス会是一年最後の二〇〇八年三月八日(土)開催予定、幹事松垣宏道君、サポート役は河野洋子さんでした。

八十才の吉田先生・

米谷先生を迎えて同期会



S 45年卒

幹事テニス部OB
大塚 繁

秋も深まり、街に冷たい風が吹くようになつた十一月二十五日(土)午後一時より、池袋のホテル第一インのレストランで同期会が開かれました。わりと小じんまりしたレストランで入口を入ると右側に厨房があり、正面にビュッフェ型式の料理が並び、その左側にフロアがあり、まわりの壁に沿って椅子が四十席ぐらい並べられていました。その奥に小さなステージがあり、上に「向丘高等学校四十五年卒同期会」と書かれた板が飾られています。今回は四十名前後の参加者と云う事でアットホームでシンプルな会場作りでした。

五年前、高校を卒業して以来、同期の人達とはほとんど交流が無く、何人かと年賀状のやり取りはあったのですが、顔を合わす事も無く過ごして来ました。五十才を迎えた年に同期会の通知を貰い、今までの私でしたら参加しなかつたのですが、生活環境も変わり、考え方も変わったのでしようか、



向丘高等学校 45年卒同期会

又節目の年と云う事もあったのでしようか、参加しました。

卒業して以来三十年以上も経ち、一度も会っていない人がほとんどで、どうなる事かと心配していましたが、会ってすぐ分かる人もいたし、話をしている内に思いつく人もいたし、最後まで分らない人もいました。その五年前の同期会で、次回の幹事はテニス部でと云う話になり、いつ開こうかと思っている内に五年も経ってしまいました。事前に前回幹事との引き継ぎやテニス部の中での打ち合わせを行ない、今回の同期会を行なう事になりました。

一時少し前からポツポツと人が集まり始め、受付で名札を胸に付けてもらいましたが、顔と名前が一致せず、又女性は名字の旧姓が分からなかつたりと、少しまごつく所もありましたが、懐かしい顔を見て、こいつは変わらないなあとか、こいつはかなり変わったなあとか、懐かしい気持ちでいっぱいでした。

だいたいの人が集まった所で、司会の宮久保君が会の始まりを伝え、私がテニス部の代表として挨拶しました。今回は吉田先生と米谷先生に参加して頂きました。吉田先生は八十才になられるというのにお元気でビックリしました。お二人にお話を頂きましたが、若干ですがお話が長く、なかなか乾杯まで辿り着けませんでした。お二人がお元氣な証拠ですので喜ばしい事ではありません。

乾杯の後は酒やジュースを飲み、料理をつまみながら、それぞれ昔を思い出して、昔話に花を咲かせたり、今の状況を話したりしながら、楽しい時を過ごしました。

後半になり、A組から順番にクラスごとステージの上を集まってもらい、一人ずつ近況報告と云う事で話をしてもらいました。簡単に終わる人もいたり、又長い人生一言では話し切れないとなかなか終わらない人もいたり、途中まわりからの合の手なども入って、楽しかったのですが、時間を取つてしまい、用意していたゲームなども出来ずに終了の四時になつてしまいました。

年を取るたびに時間の流れるのが早く感じるようになって来ましたが、あつという間の三時間でした。

この後近くの店で二次会があり、半数以上の人達が参加してくれ、又二次会だけでも来てくれた人もいて、大いに盛り上がり、一次会より長い四時間も食べて飲んで、話して、九時頃に終了となりました。長い一日でした。話は同期会から少し離れますが、私は大学を卒業してから都内の普通の会社に勤めて来ました。今から十年前四十五才の時に会社を辞め、今住んでいる山梨に移つて来ました。理由はいろいろあったのですが、いわゆる「脱サラ」で山梨で農業(百姓)をしています。北杜市と云つて山梨の一番北部にあたり、八ヶ岳と南アルプスの麓にあり、水と空気が綺麗な田舎です。米と野菜(トマト・レタス)

を作つて野菜は農協に出荷し、米は知人に食べてもらっています。米は農業、化学肥料を使わずに安心した米と云う事で作っています。今年から米の量を少しだけですが増やして作り、同期会で話をしましたら、多くの友人に食べてもらえる事になりました。吉田先生と米谷先生にも注文を頂きました。とてもうれしいです。

前にも書きましたが、会社勤めの時には同期会の通知が来ても参加する気がしませんでした。一人黙々と働いていて人恋しくなつたのでしようか、それともこの年になつて人生の先が見えて来て、皆はどうしているのか、どう生きているのか知りたくなつたのでしようか、よくは分かりませんが、何年かぶり、いや何十年かぶりに昔の仲間と会い、酒を飲みながら、語り合う楽しさを見出しました。

ひろば

母校が生まれた頃のこと



S 31年卒
川端 春生
(旧姓 三橋)

今年、我が母校は、還暦を迎えます。この文京の地に高層の近代的な校舎と夢一杯な現役生とともに今日を迎えることに対して、同窓の一人として心より祝いたいと思います。六十年前、昭和二十三年に新生高等学校が発足するとともに東京都立向丘新生高等学校が誕生したのでした。当時の私は、東京大空襲で燃えた小学校の校舎がやつと新しく建てられ、空腹を抱えて元気に飛び回る小学校の五年生でした。記憶が定かではないので、いろいろ調べ、この年の世相など列挙して見ようと思いました。

祝祭日に国旗を掲揚することが許された。帝銀事件が起きた。新警察制度が発足した。民主自由党結成(吉田茂総裁)。福井大地震が起き死者三千七百人余。昭和電工疑獄事件発覚。芦田均内閣総辞職。吉田茂内閣成立。イスラエル建国。大韓民国成立。朝鮮民主主義人民共和国成立。ドイツ東西ベルリンに分裂。ガンジー暗殺。

第一回NHKのどじまん全国コンクール開始。「異国の丘ヒット」「君待てども」「フランチエスカの鐘」「湯の町エレジー」「憧れのハワイ航路」「カチューシャ」「バイカル湖のほとり」等々。

学校給食開始。えんぴつ五円。ラムネ十五円。コーヒー二十円。たばこ(ゴールデンバット)十一円。都電六円。山手線(初)三円。映画館入場料四十円。都立高校授業料千九百八十円。大学授業料(東大)千二百円。(慶応)六千円。公務員初任給二千九百九十円。

学校の授業は厳しかった。答えられないと立たされた。授業中は私語一つなかった。宿題は絶対だった。先生は怖かった。学校から開放されると、草野球、長なわとび、長うまとび、天下落とし、カンけり、石けり、ペーごま、めんこ、ゴムだん等々、暗くなるまで大勢の仲間と遊んだ日々でした。

あの頃に比べたら、随分と恵まれた世の中になりました。この恵まれた環境の中で、現役生のみなさんの夢が開くことを願ひながら、ふと自分の高校時代を思い浮かべる今日この頃です。

蘇州紀行



S 32年卒
佐藤 元是

昨年十月初旬、中国観光ツアーに参加した。

丁度千葉東方の太平洋上を台風が通過し、成田空港の天候は荒れていた。そのため搭乗する中国東方航空の機材の到着が遅れ、出発したのは予定時間を七時間近くも遅れた真夜中だった。

中国では、蘇州・上海・北京を廻った。その中でも、蘇州は自分の初めての中国旅行の、初めての観光対象地であり記念すべき所となつた。

蘇州では留園、虎丘、寒山寺などを観た。留園は、「蘇州古典園林」の一つとして世界遺産に登録されている名園である。明治に創建され、清代に大改修された二万㎡余りの個人庭園で、東・西・中・北の四つの部分からなっている。東部には重厚な建築があり、西部は山林、中部は山水、北部は田園を現している。強く目を引いたのは、反り返った軒先が美しい大小の楼閣や、近くの太湖で産出する太湖石だった。楼閣は長い回廊で結ばれ、回廊の壁には名のある書家の墨蹟が掛けられている。太湖石は複雑な凹凸や穴のある灰色の奇石で、中国で好んで用いられる庭石の一種である。「冠雲峰」を現すと云う、この東花園に聳える太湖石の柱の、その高さは六mを超えていた。

虎丘には、春秋時代末期に呉王・夫差が父君をここに葬ると、白い猛虎が現れてその墓を守つたと言ふ伝説がある。その名の由来である。丘の上に建つ虎丘塔(雲岩寺塔)は北宋の建立だが、八角七層で、高さは四十七mの中国では最も古いレンガの塔である。これまでに度重なる火災に遭い、十五度ほど傾いてしまった。もしガリレオ・ガリレイが中国に生まれていたら、かの有名な実験にはこの「中国版ピサの斜塔」を利用したに違いない。

寒山寺は梁代に創設された古刹である。現存する建築は、清代に再建されたものと言ふ。その門の黄色い壁にはめ込まれている三枚の大きな白い石には、「寒」「山」「寺」の淡い

緑色の文字があった。入門すると大雄宝殿があつて、黄金色の釈迦像や多数の羅漢像が祭られている。しかし一番の名物は、唐代の詩人・張継が科擧に失敗し、傷心の内に帰郷する途中、近くに宿泊して詠んだ詩・「楓橋夜泊」に因む鐘である。だが、張継がその音を聞いた鐘は今も無く、新しいものに代わつていふと言ふ。また、伊藤博文が贈つた鐘もあると聞いたが、それを目にするにはできなかった。

良く知られている張継のこの詩を掲げよう。
 「月落烏啼霜滿天（月落ちて烏啼いて霜天に満つ）／江楓漁火對愁眠（江楓漁火愁眠に對す）／故蘇城外寒山寺（故蘇城外の寒山寺）／夜半鐘聲到客船（夜半の鐘聲客船に到る）」
 という七言絶句である。寺内の碑廊に展示されているこの詩を読んだとき、向丘で漢文を習つた杉田先生をふと思ひ出した。

杉田先生の最初の前期試験問題は、北海道の辺境にある高校から向丘に編入した自分にとつては難しく、惨憺たる結果だった。今でも保管していることを思ひ出して、杉田先生のガリ版刷りの答案用紙を取り出してみると、殆どの履修科目の答案用紙も一緒だった。化学の答案には「弱点は化学計算にあり」のコメントが付いている。点数はまちまちだが、唯一の満点は解析Ⅱだった。答案を眺めていると、緒先生のそれぞれのお顔が甦つてきた。更には、担任の、今は亡き田中先生とのことも。クラスの友とのことも。運動会の仮装行列や修学旅行のことも。
 中国・蘇州の旅は、半世紀も昔になる向丘での遠い記憶を呼び覚ます旅ともなつた。

ありがと〜！ホノルル

フルマラソン完走

仲間の応援とアロハスピリッツに感謝



S55年卒 小沢 玉枝

平成十八年十二月十日、四十五歳を目前にした私が、ホノルルマラソンのスタートラインに立つていた。

きっかけは前年の大会に夫の応援として参加したこと。その時に多くの感動と人が生きる力を共有し、わたしも走つてみたいと思つたのだ。

私は、仕事でも趣味でも、必ず目的と目標を掲げて行動することにしていく。二〇〇六年はフルマラソン完走という新たな目標が一つ加わつた。

最初はタイムにこだわらずゴールすることが目標だったが、トレーニングを重ねるにつれ、歩かずに走りきる本当の「完走」が目標となつた。

そしてあつという間にその日はやつてきた。フルマラソン四二・一九五kmは、何が起るかわからない旅である。一流の選手でさえも、いつでも無事に帰つて来られるとは限らない。二十kmあたりまでは順調に走つていたわたしも、後半はアタマが真っ白になつていった。

マラソンでは魔の三十kmと言われるとおり、そこから先が自分との戦いだった。そうなる体力より精神力だ。

二〇〇六年もいろいろなことがあつた。辛いこともあつたが、自分の信念を貫き、人の役に立てることを生きがいとして頑張つてきた。辛く険しい道を思えば、四二・一九五kmの道は苦しみの中に入らないと思つた。大切なのは小さなことでも一つひとつ成し遂げることだ。

栄光のフィニッシュラインは、私の新しいスタートラインに見えた。とうとう私は走りきつたのだ。

自分一人で達成できたことではない。私を勇気づけたのは、家族やチームの仲間の力強い応援と、ホノルルのあたたかいアロハスピ

リッツ。マラソンは孤独な戦いではない。心から感謝の気持ちで「マハロ」「ありがと」と叫んだ。
 二〇〇七年、新たな目標を持つてまた私は走り出している。

退職して、思いを更に

風を切つて走る気分は最高！



S47年卒 佐々木郁子 (旧姓 遠野)

趣味で弓道をしているせい、私には年配の友人が多い。みな元気で人生を謳歌している人ばかりだが、その中でもひとときわ輝いている人がいる。仮にSさんとする。彼女は画家で、病身のお父様を見送つた後、六十歳で水泳を始め、七十歳で弓道を始めて私と出会つた。

彼女を見てみると、自分だつてこれからでも何かできそうな気がしてくる。もう若くもないし、などと臆することが言い訳に思えてくる。

それで、私も昨年仕事を退職して時間ができたのを潮に、いままで「いつかやろう」と思っていたことを少し片付けてみようかと思ひ立った。

家族には反対されたが、思い切つて普通自動車二輪の免許を取るべく教習所に通ひ始めた。普通自動車の免許は持つていたので、原付ならば乗つていただけがある。それよりちょっと大きいだけでしょ、と高をくくつていたのだが、これが大間違いだった。原付よりちょっと大きいだけに見えるのに、四〇〇ccバイクの重量は約二〇〇キロもある。少し傾いただけでも、片足ではとても支えきれず転倒する。両足をあざだらけにして、教習所の卒業検

定にも何度も落ちて、正直、これは無理かもしれないと半分あきらめかけた頃、まるで神様が情けを掛けてくださったかのように、合格した。

今年から始まつたIC免許証の「併記」の文字がいとおしくてならない。

もしもダークブルーのホンダCB400SSが走つていたら、それはもしかして私かも。風を切つて走る気分は最高だ。オープンカーでもこれほど自由な気分は味わえなかつたのに、バイクだと自分がまるで風になつたように感じる。たつた時速四十キロでえらく吹いてくれるじゃないの、と言われてもかわない。無事故無違反で、この大切な免許証を汚さないように頑張りたい。

でも、願わくば、駐車違反は見逃してほしい。バイク用の駐車場つて少ないし、車と同じ料金なんて高すぎる。

一筆啓上

S48年卒

須賀 福子

(旧姓 牧野)

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。さて、同窓会の開催におかれましては大変お世話になり有難うございます。同じ会場でのセッティングはどうなるのかと本心不安でしたが、皆さんの落ち着かれた進行に、自分にはない面を勉強させて頂きました。吹奏楽部は明るく楽しませて頂きました。

思い出します「ガオカーファイト！」を繰り返しながら部活動を過した事を、本駒込から学校迄ずいぶん変わりました三十三年の歲月・・・

川越へ御寄りの際は連絡を下されば御迎えし、御案内させて頂きます。かしこ
 平成十八年四月三十日

総会・懇親会模様

18年4月23日(日)



さあーお食事開始♪



抽選会・当りを待つ新成人たち



決着はチョコキに旅行券

左ディズニー
右iPodが大当たり!



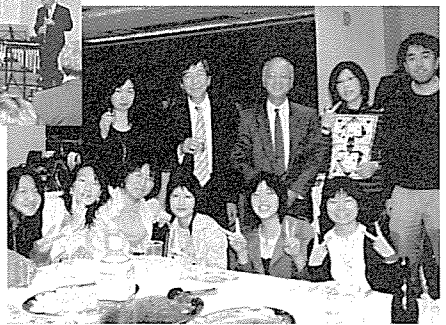
18. 3卒業生のグループの集い



18. 3卒業生



上：吹奏楽部と先生の熱演
下：飲み合う仲間



先生方と一緒に



仲よし新成人グループ



新成人幹事グループ

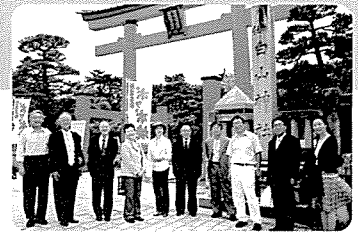


役員グループと共に

新潟大会

平成18年5月27日(土)
新潟シティホテル

式典会場にて



白山神社

信濃川沿(草原)やすらぎ堤



懇親会場にて

- 川端春生
(三橋)
- 早川幸雄
(川島)
- 菅山幸子
米林喜男
- 三田昌男
西村召一
- 櫻井弘清
小川力洋
- 宮久保渡
(吉田)
- 杉浦重治
尾道郁代
(大橋)
- 小山ゆき子

合同旅行会

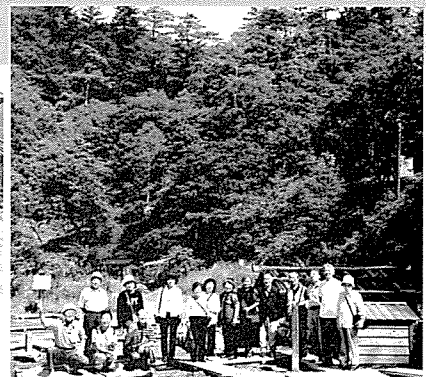
平成18年9月9日(土)~10日(日)
奥日光 湯元温泉



参加者全員集合 おおるり山荘



中禅寺前



源泉小屋前

向陵祭

平成18年9月23日(土)
~24日(日)



同窓会展示コーナー



懇親会



正門模様



ホームカミングセミナー



セミナー参加の方々

寄付者・会費納入者一覧

平成18年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(締切19年2月20日)

寄付者名一覧

- ◆旧教職員
井口 磯夫
板井 哲夫
◆S25年卒
天沼 弘子(國保)
茅田喜久子(福田)
◆S26年卒
渡辺 信子(加藤)
◆S27年卒
肥沼 君枝(中村)
佐藤 陽子
関岡 節子(東野)
府川 文子等々力
松尾 一郎
◆S28年卒
大久保邦重
中西多恵子(山田)
◆S29年卒
朝日 京子(師田)
板上エミ子(西村)
橋田喜智子(山口)
牧野 茂
◆S30年卒
浅倉 京子(佐藤)
安在 芳子
大竹 行子(吉葉)
岡田 邦夫
棚田喜美江(林)
中村 素子(河野)
前田 信子(山本)
◆S31年卒
伊勢 武治
小川 力洋
川端 春生(三橋)
小柴美英江(大塚)
高橋 元彰
土屋よし子(山本)
二瓶恵美子(佐拔)
沼田 敬二
三田 昌男
宮沢 郁代(益川)
山田 和子(釘宮)
山本 越子(福永)

会費納入名一覧

- ◆S32年卒
北沢満里子
櫻井 弘清
◆S34年卒
石井 泰夫
石山彼早子(佐伯)
立花 玲子(古川)
永田 正博
米林 喜男
脇田 知子(村山)
◆S35年卒
五十嵐光俊
池辺 弥生(星野)
◆S36年卒
岩井 和子(大野)
河野 洋子
久保田昌雄
田中 正明
松垣 栄子
◆S37年卒
佐谷戸 爽
佐脇 修
丹野 安子(増宮)
宮下紀恵子
山崎 政利
◆S38年卒
飯山千枝子(萩原)
◆S39年卒
湯浅美保子(奈良)
◆S40年卒
古川 治子(加藤)
◆S41年卒
青木 恒雄
尾道 郁代(天橋)
小室 民夫
長谷川三枝子(原)
原 淑子(近藤)
福島 宏紀
◆S42年卒
早川 幸雄(川島)
◆S43年卒
井手 童子(丹沢)
榎本 裕子(高橋)

- 鈴木 幹夫
◆S44年卒
高橋 京子(関口)
谷藤 優子(寺崎)
◆S45年卒
小林 正夫
深川 渡
◆S46年卒
恩村 一郎
◆S47年卒
佐々木郁子(遠野)
◆S48年卒
本多 和子(園分)
◆S50年卒
成瀬 由起(千國)
◆S52年卒
五味 和之
◆S53年卒
住吉 千砂
竹内 慶司
◆S54年卒
松尾 佳子
◆S55年卒
田坂ひとみ
◆S56年卒
武智 弘英
三原 昌幸
◆S58年卒
旗野 敏弘

- 安土 靖子(川崎)
大井 弘子(市川)
大河内雄四郎
太田 きよ太田
幸田 愛子(青木)
小林 俊子(岩田)
小川美恵子(伊)
酒井美代子
清水 時代(木之村)
高橋 清子
津雲 貞子(松田)
長谷川千代(中沢)
舟橋 和子(荒川)
◆S28年卒
岩松 英子(塚田)
内山 由子(豊田)
岡崎富美子(内田)
黒川 滋洋
小林 怜子(足立)
小松俱美子(中井)
小松原喜美子(松沢)
霜田 恒彰
長坂 順子(横川)
早船セツ子
堀 満彦
◆S29年卒
松井 節子(福田)
荒木 彩生(三井)
稲垣 治重
岩木 信二
金子 節子(渡辺)
榎島恵津子(佐野)
上之園かほる(川崎)
石川 和子(柴崎)
井上 早苗(阿部)
堀田 恵津(山田)
◆S25年卒
小田切成江(小林)
昼間 敦子(関)
本多美代子(今井)
◆S26年卒
鎌田 美子(佐々木)
高橋恵美子(木村)
湯田 道子(堀口)
◆S27年卒

- 服部 依子(星出)
葉山美佐子(徳永)
広江 英一
福原 淑子(野口)
三浦 洋子
三谷 一郎
山田 順一
若木 康孝
◆S31年卒
赤松利久子(岩本)
石山 登
居村 正久
榎本 武弘
柏 やよい(保田)
佐藤佐江子(森)
佐藤 英治
水津 信雄
田中 澄子(小粥)
塚本トメ子(佐藤)
中島 徹
檢貝 英子(稲垣)
姫野千代子(近藤)
深瀬 恒矣
福田とき子(小林)
望月 和恵(新保)
山崎 久磨
◆S32年卒
小西 圭子(城)
佐久間博子(岩垂)
佐藤 元是
春川 園子(勢)
米光富美枝(林)
◆S33年卒
鶴岡 孝
中河 健男
◆S34年卒
植山榮次郎
乙部たみ子(新名)
小野沢勝彦
川合美津子(堀切)
車田 葦子(日野)
國府田美恵子(島田)
菅口 雅子

鈴木 紀(菅原)
田中ケイ子(宿輪)
田牧 紘一
森木 紘子(太田)
◆S35年卒
清水 幸明
難波田久子(土井)
三浦みさ子(江島)
山本 一智(高橋)
◆S36年卒
井沢 洋子(高橋)
石黒 寿子(八木)
海蓋 陸治
奥村 誠
塚原 元昭
寺尾ヒロミ
真塩 共栄
三野 洋子(前原)
森 絢子(小沢)
◆S37年卒
阿部多恵子(随原)
板谷 勝
小黒 由明
勝田久美子(戸波)
河原 正史
齋 巖
酒井貴世子(野辺)
篠田 保
◆S38年卒
鈴木多可子(浅賀)
岡田 友子(杉山)
坪井 節子(青木)
西村 召一
牧野 進
山下 短子
米山 義昭
◆S38年卒
五島ミチ子(松本)
桜井 昭子(筒山)
中後 益宏
羽柴 美枝(五十嵐)
平野 和子(矢野)
◆S39年卒
植木 哲郎
木内 明代(田口)

- 北田 照子(大山)
庄司 和美(赤塚)
谷口 雅紀
田村 照次
中谷富美子(吉野)
能州 慶次
三浦 陽子(劍持)
◆S40年卒
秋山 浩一
小山由記子(吉田)
杉浦 重治
谷本 敏子
◆S41年卒
稲葉 美子(田中)
井村 忠
鶴岡 俊子
熊田 忠雄
筒井 直昭
戸田 光子(土井)
廣瀬 文生
町田 悦子(節)
溝口 進一
三谷アツ子(西)
山辺 恭司
吉田 恵子
◆S42年卒
池ノ上政雄
岡 和江(屋成)
柳田 照良
原 真理(根岸)
松田 文子(米村)
宮崎由美子(有原)
渡辺 幸恵(岩永)
◆S43年卒
正田 京子(菅谷)
武田 礼子(写儀)
松村由美子(高橋)
◆S44年卒
飯野 正則
大熊 雅男
加藤 篤子(内藤)
松上 恵一
◆S45年卒
井出 啓子(大田)

- 中村恵太郎
◆S46年卒
石井 洋子
笹山 幸子
玉木 英子(清水)
宮浦美恵子(北上)
◆S47年卒
秋元 雅則
上野美智子
菊池 早苗(加藤)
栗原 素子(孤田)
長谷川教子(高倉)
◆S48年卒
柏 英明
小林 道子(近藤)
須賀 福子(牧野)
高橋 淳(高野)
◆S49年卒
今出 隆久
上野 一成
川崎すみ子(白石)
川島 清次
木津 生代(岡本)
鈴木 紀安
横山久美子
◆S50年卒
永井すま子
◆S53年卒
豊島 恵一
◆S55年卒
上田 千恵
中野 仁史
◆S56年卒
兼子まゆみ
◆S57年卒
飯岡 明子
◆S58年卒
梓澤 秀昭
◆S59年卒
木下 玲子(川井)
塘居けい子(大崎)
◆S60年卒
宇佐美由美子(藤井)

内田 明美(内田)
◆H4年卒
宮本 一成
◆H5年卒
阿部(直子)(雨宮)
◆H7年卒
武居 将典
◆H9年卒
高橋 博史
◆H10年卒
高橋 美法
◆H12年卒
竹村 祥子
◆H14年卒
土屋 佳澄
◆H15年卒
土方江梨香
◆H17年卒
斉藤 千春
竹村 亮

運営費にご協力をお願い
ご協力のおかげで
会活動活性化に向けて
提案・ご寄付・年会費等
のお振込み方にご協力をお願
い申し上げます。

書：高尾和子(杉本) S31年卒

やよい俳壇

檜 紀代選

(S 31 佐藤令子 旧姓 安藤)

日本橋わたりバラソル三越へ

S 27 森重竜郎(龍彦)

だんだんと顔ビカソめく目惜どき

S 27 小松原錦子(旧姓 吉沢)

美男子の僧の鼻声花粉症

S 30 安河内恵美

(旧姓 鷹見恵美子)

雪洞(ぼんぼり)のぼんやりが好

き雛飾り

S 31 麻生やよひ

(山本越子 旧姓 福永)

檜 紀代吟

放屁虫(ほうひむし) 文殊の知恵

とはしやらくせ)

五指(ごし)の葉のまだ城りしめ

楓萌ゆ

☆俳句の世界へのお誘い

団塊の世代の退職が少子化とともに昨今の話題ですが、時間にゆとりができたなら俳句をはじめませんか?作り方は簡単。たぶん授業で習ったことがあるはず。十七文字に収めればいいのです。

次は句会に参加しましょう。三句ほど作っていき、会場で短冊に書きます。始めは誰が作ったものかわからずに廻ります。廻ってきたら、自分以外の句から共鳴する

ものを選びます。選ぶ数や方法が結社によって異なる場合もありますが、仲間が出来ることは確かです。吟行は遠足のようなもの。おやつも好きなだけ持つていってよいのです。

檜紀代氏は『遠矢』という俳誌の主筆です。遠矢は全国に句会を持つています。お問い合わせいただければ、あなたのお近くの句会をご紹介します。

一緒に俳句を毎日を楽しみましょう。

連絡先 麻生やよひ

(山本越子 旧姓 福永)

TEL/FAX

〇三―三三三三―二七四八九

e-mail

etsutra@krabiglobe.ne.jp

合同旅行会会員募集

日時 十九年九月八日(土)

〃 九日(日)

場所 草津温泉ホテルニュー

紅葉(おおるりグループ)

参加費 〇二七九―八九八―〇二

一〇,〇〇〇円

一泊四食付(但しオプ

ション除く)

集合 JR田端駅前

午前七時四十五分

八時出発

送迎バス利用

十五名以上二十八名まで

申込〆切 先着順にて受付けます。

八月十五日までに会費

をお振込下さい。

郵便振替番号 〇〇二〇九五三八五二

振替者名 都立向丘高校同窓会(通

信欄に旅行代金と記す

こと)

※少人数の時は、池袋発乗合バス

利用に変更となります。

来年度、七十歳、六十歳、五十歳、四十歳、三十歳になる期の同窓会の皆さん!同期会を開催しませんか。同窓会でお手伝いいたします。その期の宛名シールと通信費を補助致します。

開催したいと思っっている方は、四月二十二日の総会に出席ください。その場で相談したいと思っいます。

お誘い合わせのうえ、御参加ください。(ただし、総会において、その期の代表者が不参加の場合、後日の受付はご遠慮願います。) 担当 会計 尾道郁代

同窓会役員名簿

平成18(2006)年2月20日現在

役職	氏名 (旧姓)	卒年	〒 住所	電話番号
顧問	石 章二郎	歴代校長		
〃	佐々木 益 男	〃		
〃	新城 昇 昇	〃		
〃	池永 武 昭	〃		
〃	北村 透 透	〃		
〃	北村 正 生	〃		
〃	石井 隆 夫	〃		
名誉会長	戸谷 賢 司	校 長		
会長	小川 力 洋	31年卒		
副会長	小三 田 昌 男	31年卒		
〃	杉浦 重 治	40年卒		
会 計	尾道 郁 代 (大橋)	41年卒		
〃	長谷川 三枝子 (原)	41年卒		
書 記	山本 越 子 (福永)	31年卒		
〃	笹山 幸 子	46年卒		
〃	佐々木 郁 子 (遠野)	47年卒		
会計監査	石山 彼早子 (佐伯)	34年卒		
〃	寺村 光 司	37年卒		
幹事長	櫻井 弘 清	32年卒		
西日本地区幹事	高尾 和 子 (杉本)	31年卒		
新潟地区幹事	小山 ゆき子 (吉田)	40年卒		
事務局	飯田 幸 男	副校長		
相談役	川端 春 生 (三橋)	31年卒		
〃	田中 正 明	36年卒		
〃	千田 三仁江 (樋口)	59年卒		

【事業報告】

平成17年4月1日～平成18年3月31日

- I 役員会(幹事会)
平成17年4月4日(火)
会計監査会、4名参加
於 小川事務所
平成17年5月10日(火)
総会反省会及中京大会の打合せ
14名参加
於 北区東田端地域振興室
平成17年6月28日(火)
中京大会反省会及びホームカミングセミナー打合わせ会 12名参加
於 北区東田端地域振興室
平成17年8月23日(火)
向慶祭参加及びセミナー、最終打合わせ
10名参加
於 北区東田端地域振興室
平成17年11月17日(木)
ホームカミングの反省会及び会報企画会議 10名参加
於 北区東田端地域振興室
平成17年12月12日(月)
やよい16号原稿集め及び忘年会 9名参加
於 北区東田端地域振興室

- II 総会記念演奏会・母校6階ホール
平成17年4月24日(日)
①母校吹奏楽部 16名出演
指揮 原田亮先生
100名ほどの卒業生&保護者、一般参加者が堪能した。

- III 総会・懇親会・母校6階ホール
平成17年4月24日(日)
事前の要予約振込みが少なく参加人数が把握できなかったが50名程度の準備をした。
石井校長、飯田副校長はじめ元校長池永先生、元教諭橋本先生の参加があり激励を受けた。
抽選会では愛県ゲーム(好きな県名を書くビンゴ)。景品も多数で大賑わいした。
特別商品の稲葉祐吉氏提供による額付き干支切り絵は、31年卒梅田氏が獲得した。

- IV 研究活動
H17年4月3日(日)
健康ウオーキング会 高尾山 4名参加
H17年5月28日(土)
やよい中京大会
於 名古屋 中国飯店
会報を通して広報した役員のみ7名参加(模様は16号誌9頁に掲載)
H17年9月10日(土)～11日(日)
宿泊研修会 那須高尾温泉行き7名参加

- (会報16号11ページに写真を参照)
H17年9月22日(金)
向慶祭展示コーナー準備会、5名参加
B棟3階
H17年9月25日26日(土)
向慶祭に参加。P T A会場に同窓会コーナーを設営。稲葉祐吉(30年卒)氏の切り絵の原画他干支など多数を出展頂いた。同時開催 トルコ訪問写真展開催
田中正明氏 (S36年卒)
ロシア訪問写真展山本越子(S31年卒)氏
H17年9月26日(日)
ホームカミングセミナー「俳句は頭の活性化」B棟4階
講師 31年卒 佐藤令子氏(旧姓安藤)、俳号 檜 紀代氏
講演後開催した懇親会には、P T A会長 O B、現役 P T A 役員諸氏にもご参加いただき、俳論を交わした。25名参加
H18年3月13日(月)
卒業式予行日(本番前日)卒業生全員に同窓会入会の説明をした。非入会者は同窓会名簿に載らない旨を伝えた。239名卒業生中5名が非入会の意思を示した。
H18年3月20日(月)
新成人(H16年卒)幹事12名に招集をかけ「新成人を祝う会」の打合わせを行った。4名参加
於 小川事務所
H18年3月23日(木)
新入生241名への説明会で同伴の保護者にも同総会入会の同意を促した。

- V 会報関係
H17年12月12日(月)
16号誌の企画&原稿持寄り会 9名参加
於 北区東田端地域振興室
H18年1月23日(月)
16号誌の編集会議 10名参加
於 北区東田端地域振興室
H18年2月25日(土)
16号誌の編集会議 6名参加
於 北区東田端地域振興室
H18年2月28(火)
最終まとめ 2名参加
於 小川事務所
H18年3月13日(月)
卒業生に配布するため300部を学校に納めた。3月末日までに住所判明者全員(10,614通)に発送を済ませた。

- VI 渉外関係
H17年4月7日(木)
母校入学式に小川会長列席
於 母校体育館
H17年5月19日(木)
P T A 総会後の懇親会 三田副会長列席

- 於 松柏軒
H17年6月9日(木)
体育祭 小川会長が参観
於 六義園
H17年9月24日(土)25日(日)
向慶祭に役員多数参観
於 母校
H18年3月14日(火)
母校卒業式に小川会長列席
於 母校体育館
母校 P T A 卒業を祝う会に小川会長出席
於 母校体育館

- VII 振興助成
H18年7月26日(火)
高尾和子氏(S31年卒)国立劇場出演に
対し助成
H18年8月13日(土)
田中正明氏(S36年卒)の柳田國男研究
図書編纂完成に
対し助成

- VIII 慶弔関係
H17年4月1日(金)
元教諭水山清先生逝去につき、弔電を送った。
H18年2月11日(火)
相談役稲葉祐吉氏(S30年卒)逝去につき
生花を贈った。

【決算報告】

別紙決算報告のとおり

【事業計画】

- I 総会・懇親会・新成人を祝う会開催の件
やよい16号参照
H17年4月23日(日)
II 全国大会・やよい会新潟大会の件
やよい16号誌1頁参照
H18年5月27日(土)
過去開催は、大阪、名古屋と関西方面が
主流だったので今回は新潟を開催地とし
た。各方面から多数のご参加を期待して
いる。近隣県在住者にはご案内発送予定。
III 向慶祭参加とホームカミングの件
H18年9月23日(土・祝日)24日(日)
向慶祭開催 やよい16号1頁参照
H18年9月24日(日)16:00～17:00
場所 母校B棟4階視聴覚教室
ホームカミングセミナー
テーマ「切らずに治すガン治療」
H18年9月24日(日)17:00～18:30
懇親会
場所 母校B棟4階視聴覚教室
IV 宿泊研修会(合同旅行会)の開催
H18年9月9日(土)～10日(日)
奥日光湯元温泉おもしろ荘
16号誌11頁掲出
V 同期会・クラス会等への通信費の助成
呼びかけ人数1通につき¥200報告文を受け
取り次第、代表幹事の指定口座振込込む。
会合の集合写真等を添えて小川会長宛速や
かに郵送されたい。
VI 広報誌の発行と発送
(会員相互の意思疎通を図るため)
平成18年2月に「やよい」17号発行(予定)
の件
VII 年会費、寄付金ご協力をお願い
新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。
年会費は1口1,000円。運営費として2口
程度(¥2,000)のご協賛をお願いしたい。
年会費込み3,000円以上の送金は寄付金扱
いとする。
VIII 次期定期総会の件
平成19年4月22日(日)開催予定
アトラクション、懇親会についての提案
を受付中。
新成人を祝う会(H17年3月卒業生対象)
を継続開催予定

平成17年度会計報告及び平成18年度予算案

都立向丘高等学校同窓会
平成18年3月31日現在

Table with 3 columns: 収入の部, 17年度決算, 18年度予算. Rows include 入会金, 年会費, 総会懇親会費, etc.

Table with 3 columns: 支出の部, 17年度決算, 18年度予算. Rows include 全国大会関係費, 交通費, 通信印刷費, etc.

上記の通り取支報告申し上げます。

平成18年4月23日 同窓会会長 小川 力洋
会計 尾道 郁代
監査の結果誤りの無いことを認めます。
平成18年4月3日 監査 石山彼早子

中 村 恵 美 子
(第四十九期 平成九年卒)
心よりご冥福をお祈り申し上
げます

P1セミナー 記念事業講師紹介

- ④ 見城慶和氏
元荒川区立第九中学校教諭。自主学習会「エンピツの会」運営スタッフ。「徹子の部屋」に出演。3chにて上田早苗アナと対談。学お楽しさすばらしさ 平和でなければ学びもない
⑤ 横山秀夫氏(S52卒)
「陰の季節」で第5回松本清張賞受賞。「半落ち」が映画化され、話題になる。
主な作品「半落ち」「真相」「影踏み」など